

2009年5月12日
東日本旅客鉄道株式会社

その土地の旬な過ごし方を地元の人がおすすめる旅 地元発。とれたての感動！「旅市」誕生！

JR東日本は、地元の人を考え、ご案内する旅(着地開発観光メニュー)をお届けする、新しい旅行商品ブランド「旅市(たびいち)」を立ち上げます。

「旅市」では、その土地の魅力を知り尽くした地元の皆さまと連携し、地元の人だから知りえる魅力を旅行商品として提供します。

「旅市」という言葉には、「人が集う市に新鮮な野菜が並ぶように、地元の人がおすすめる観光素材を集めた」という意味を込めました。

地元の人と一緒に観光による地域活性化に取り組むとともに、「地域に根ざした本物の素材」を求める新しい旅行需要にこたえ、国内観光振興を図ります。

「旅市」とはこんな旅です

「地域に根ざした風土・文化」、「地産地消」、「人とのふれあい」をコンセプトに、宿泊施設や昼食箇所、ガイドなどに携わる地元の全ての人がお客さまに一番おすすめることができる過ごし方を提案する旅です(1泊2日で2～4万円台に設定)。

「旅市」第1弾は、以下の2プランを含んだ3エリア9コースを提供します。



地元の人地域活性化のために農家レストランとして生き返らせた古民家で、田園風景を眺めながら、おばあちゃんが作る地産地消の愛情たっぷり料理を楽しむ旅(宮城県・大崎市「凛菜・上の家」の提案)

紅花畑で、地元の人に教えてもらいながら、ひたすら紅花摘みを手伝い(所要3時間半)、黄色に染まる紅花畑を眺めながら地元素材のお弁当を五感で味わう旅(山形県・白鷹町観光協会の提案)

秋以降、当社エリア内で商品設定地域を拡大していく予定です。

設定期間 平成21年7月1日(水)～平成21年9月30日(水)
コースによって除外日があります。

発売日 平成21年5月20日(水)